

大学生の自己意識的感情経験の中日比較 —恥・罪悪感を喚起する状況の比較—

○黄 黎ブン（広島大学）

井上 弥（広島大学）

キーワード：自己意識的感情，恥，罪悪感

問題および目的

失敗をして、他者に迷惑をかけるなど、社会的苦しい状況に陥るとき生起する感情には恥と罪悪感の 2 つがある。Ferguson (1999) によると、恥と罪悪感は、誕生してすぐに見られる怒りや悲しみなどの基本的な感情とは質的に異なり、社会的、自己意識的もしくは自己評価的である。Vangelisti, Daly, & Rudnick (1991) によれば、罪悪感

は親密な対人関係の文脈において誘発されるが、見知らぬ他者との文脈では喚起されない。また、Baumeister, Stillwell, & Heatherton (1994) によれば、他者に迷惑をかけ、その他者との関係もしくは交流に脅威が生じるときに罪悪感が促される。有光 (2002) によれば、罪悪感を喚起する状況は他傷、他者配慮不足、利己的行動、他者への負い目の 4 因子で、他者への負い目は日本の青年のみでみられる。

このように自己意識的感情は自分についての感情なので、文化によっても異なる。同じ状況でも同じ自己意識的感情を感じるとは言えない。そこで、本研究では、日本人と中国人が同じ状況で、恥と罪悪感をどちらをどの程度感じるかを比

較して、状況と恥および罪悪感を感じる程度の対応関係を検討するために、罪悪感喚起状況を収集し、罪悪感喚起状況を整理することを目的とした。

方 法

調査対象者 20 名の大学院生（中国の男性 5 名、女性 5 名；日本の男性 5 名、女性 5 名）。

質問紙 調査対象者に先生、親、友達、先輩、後輩に対して罪悪感を感じた経験を想起して、そのときの状況を自由に記述させた。質問は、例えば、「先生に対して罪悪感を感じたことがありますか？ もしあれば、その時の様子（どんな時、どんな場所、どんな状況）をできるだけ詳しく説明してください。もしなければ、どんな時に感じるかを想像してその様子を説明してください」というものだった。

結果と考察

調査対象者の記述を罪悪感を感じた対象ごとに KJ 法によってカテゴリズした。Table 1 には、先生に罪悪感を感じる状況のカテゴリを示した。中国人ではない状況もみられた

Table 1 先生に罪悪感を感じる状況

期待に背く
C1 先生に優しくされたり、いい成績が取れるように期待されたりしたのに、先生の期待に背く時に（罪悪感を感じる）。
C5 教育面において指導力があり、いつも愛情を持って、私を世話をしてくれる先生がいる。しかし先生の期待に添えず、いつもがっかりさせる（成績が悪いなど）。この時に罪悪感を感じる。
C8 先生に要求された宿題を終わらせられなかった。あるいは、先生の要求に添えなかった。特に先生はそのことで私を叱らなくて、がっかりされた時。
C9 やるべきことがいっぱいあるのに、勉強する気がない。先生はセルフコントロールがある人なので、自分はその先生の学生なのに、まじめに勉強してないと思った時、罪悪感を感じた
C11 先生の期待に背いた。先生は私が真面目に修論を準備したと思ったけど、私はアルバイトをしたり、遊んだりして、研究をしなかった。
J1 係りの仕事を任せられ、その役割を十分に果たせなかった時 J5 期待されていたパフォーマンスができなかった時「いつまでにをやってくれ」に対して期待に応えられなかったなど
J12 仕事を任せられて、期日までに終わらなかった時
J13 応援してくれていたのに、結果が伴わなかった時（受験や部活との試合など）
迷惑をかける
C3 奨学金を申し込んでいた時、自分がちゃんと準備できなかった。それで、先生が私のことを心配して、事務室で資料を書いてもらった。先生に対して、罪悪感を感じる
C4 先生は用事があるから、私に連絡した。友達が電話に出ると私に言った。私は友達のことを聞いて、無視した。先生にご迷惑をかけた。
C12 寄宿制の学校の先生たちは多数の時間を私たちににかけてくれたが、その先生は自分の子どもの世話をする時間が少ないと思ったとき。
C13 授業の準備をする時、あるいは、宿題を添削する時。いたずらな子どもが多すぎる。先生の調子が悪い時
J2 中学生の時、学校で体調不良（貧血）になり、倒れたことがあり、担任の先生や周囲の先生たちに心配をかけたことに罪悪感を少し感じた
J3 TA で教室のカギを持っているのに、当日寝坊し、迷惑をかけた時
J11 自分が中学生の頃、部活の部長をしていた時、試合に行く事が面倒になり、無断欠席した
うそをつく
C10 仕事をしたくないという理由で、先生にウソをついた時。
J6 宿題をやったふりをして誤魔化した時 J7 高校の時、宿題をするのを怠っていて、提出期限ぎりぎりに友人の宿題を写して提出したところ、先生に不正がばれてしまった時
J8 嘘をついて、それを隠し続けなければならない状況に罪悪感を感じると思います。
ぐちをこぼす
J10 大学生になってから、教育実習をしている時、過去の自分（小学生の頃）を思い出して、新卒の先生（初任）に対して、「字が汚い」、「問題が簡単すぎる」など不満を持っていたこと。（自分でやってみたら、その先生の大変さを知って申し訳なく思った。）
（好意、心など）を傷つける
C2 先生から世話をしてもらったり、助けってもらったりしたのに、自分のわがままで、先生に当たり散らしたり、悪口を言ったりしたことを思い出すと、罪悪感を感じた。
C6 高校生の時、先生は地理に関する知識が重要だと、何度も教えてくれた。その時、先生が何回も同じ内容を話してくれたが、めんどくさくて聞かず、時間を無駄にしたと思った。先生が教えてくれたところが試験に出題されたのに、答えられなかった。この時、先生に罪悪感を感じた。
C7 小学生の時、クラスの幹部なのに、仕事ができないうと先生に言われた。先生は私を教えた論じつもりだったのに、私は叱られたと思った。長い時間、クラスのことをきちんとしなかった。そのあと、先生が私のために、そのことをやってくれたのを知った時、先生に罪悪感を感じた。
J4 先生が勉強を教えてくれるのに、それを理解できず、先に進まない時
J9 ゼミの時、大学の教室で、指導教員の先生から何回も言われていたことができていなかった。（同じ注意を受けてしまった）